

豪州金融政策決定会合について

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・豪州準備銀行（RBA）は政策金利を 1.50% で据え置きを決定。
- ・スティーブンス豪中銀総裁は退任し、副総裁のロウ氏が就任へ。
- ・金融市場での過度な利下げの織り込みは解消されつつあり、豪ドルは金利強含みが下支えになる可能性。

豪州準備銀行（RBA）は政策金利の据え置きを決定

豪州準備銀行（RBA）は、9月6日に行われた金融政策決定会合において、政策金利を現状の 1.50% で維持することを決定しました。豪州では、2016年5月と8月に利下げが行われており、今回の9月会合に際し、市場では金利が据え置かれるとの見方が優勢でした。

金融政策スタンスに対して理事会は、声明文で「全ての入手可能な情報を考慮し、5月と8月に金融緩和を行ったため、理事会は政策スタンスの維持が、経済の持続的成長およびインフレ目標達成と整合的と判断した」と述べ、将来の追加緩和についての示唆はありませんでした。

その他声明文においては、内外での成長見通しなどは概ね前回と同様の文言となりました。

豪中銀総裁には、副総裁のロウ氏が就任へ

今回の会合は、スティーブンス総裁にとって最後となります。9月18日にスティーブンス豪中銀総裁は退任し、後任には副総裁のロウ氏が就任する予定です。

ロウ氏は1980年に豪中銀入りした生え抜きで、中銀内で信認も厚く、大幅な政策変更のリスクも少ないと見られています。

追加緩和は示唆されず、債券利回りは小幅上昇

債券市場では、声明文で追加緩和が示唆されなかったことなどがタカ派的と判断され、利回りは上昇しました。金利市場では、数か月前には年内2回の利下げを織り込む局面があったものの、足もと、10月後半の7-9月期の消費者物価指数の発表まで、追加緩和の可能性はほとんどないと予想されています。

ただし、低インフレ環境が続くなかで、依然来年半ばまでに 25bp の追加利下げを想定しています。今後は、経済指標に対してより神経質になると見られます。ブルームバーグでの予想コンセンサスによると、7日発表の GDP は前年同期比で +3.1% から +3.3% へ加速する見込みとなっているほか、8日発表の7月貿易収支では前回の▲31.9億豪ドルから▲27億豪ドルへの赤字縮小が見込まれています。

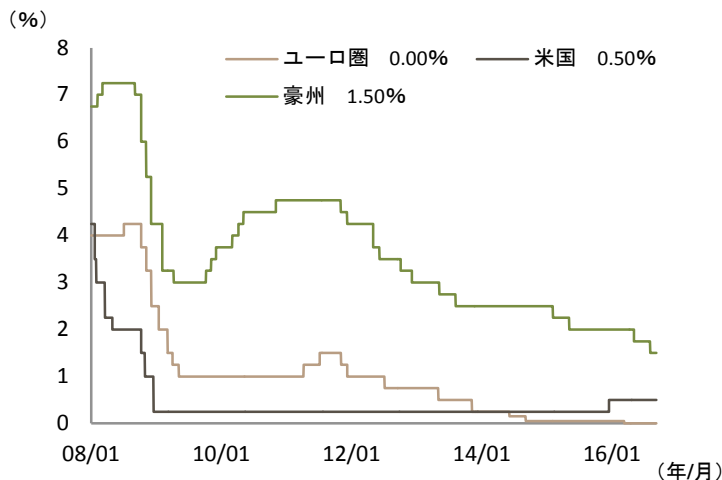
豪ドルは、金利の強含みが下支えに

豪ドル/米ドルは、予想を下回った8月の米雇用統計を受けて反発し、RBAの声明を好感し、0.76ドル半ばまで上昇しています。

こうした中、豪ドル/円は上昇基調が続き、7月中旬以来の80円台回復が狙える水準に近づいています。今後の経済指標次第では、金利上昇に連動する形で、上値余地を拡大する可能性もあります。

■各国の政策金利推移

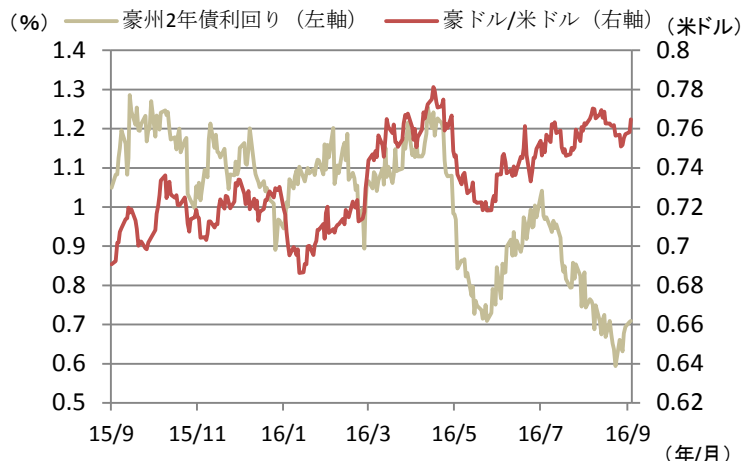
(2008年1月1日～2016年9月6日)



出所：ブルームバーグ

■豪州2年国債と豪ドル/米ドルの推移

(2015年9月4日～2016年9月6日*、日次)



出所：ブルームバーグ *2016年9月6日16時時点でのデータ

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

本資料ご使用にあたってのご留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。
※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時：購入時手数料 上限 3.78%（税抜 3.50%）
- ・換金時：信託財産留保額 上限 0.3%

【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用（信託報酬） 上限約 2.4839%（税込）（ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む）
- ・その他の費用（監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等）をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 412 号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2016. キーシンボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。